

『すべての物は神より出で、神によりて成り、神に帰すればなり。栄光永遠に神にあれ、アメン』 ロマ書 11 章 36 節

美濃ミッション 1918年創立

〒510-8008 三重県四日市市富田浜町 10 番 4 号

TEL. 059-365-0096 FAX. 059-365-9399 <http://www.cty-net.ne.jp/~mmi/>

2021年12月 恵日

主イエス・キリスト様にありて、

救い主の御降誕を心よりお祝いし、来たる新年の祝福をお祈りいたします。

いつも小さな私たちの働きと家族のために、お祈りとご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。本年も多くの皆様のお祈りに支えられて、美濃ミッションと諸教会の働きが継続できましたことを、感謝しています。至らぬ者ながら、私が全教会を兼牧するという形で、愛する同労者・教会員の兄弟・姉妹方のご協力をいただき、補い合って続けております。コロナ禍にあっても、主の御守りの中で、各教会の定期集會を休まず継続できましたことは、本当に感謝でした。

本年2月には、オンラインも利用しながら、信教の自由の集會で2回、講演をさせていただきました。(講演録もございますし、YouTube でも視聴できます。)

美濃ミッションの機関誌、伝道新聞「聖書の光」を、例年通り三回発行することができて感謝でした。今後とも主にある兄弟姉妹方の励ましのため、また救いを必要としておられる方々の一助となりますことを祈りつつ、福音文書の発行と配布を継続してまいります。

本年の異動としましては、春から妻と妹が介護をしながらですが、伝道助手として働きに加わり、8月からは足かけ五年の海外での学びを終えた木戸康智兄が、伝道師・副牧師として大垣教会に赴任いたしました。

続いて高齢化も進み、本年も二人の姉妹方を天に送りました。要介護の人も増え、人員・資金減少などの諸問題を抱えて、連日苦闘していますが、預言者エリヤの時のように、『…その桶の粉はつきず、その瓶の油は絶えず…』(列王上 17:14)を実感した一年でありました。主を見上げつつ、先達から受け継いだ信仰のミッションとして、伝道、証しに励みたいと願っていますので、今後とも変わらぬ御祈援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上簡単ではございますが、この一年を振り返り、お祈りの御礼と、ご報告とさせていただきます。皆様の上に、主イエス様の祝福が豊かに加えられますよう、お祈りいたします。

栄光在主、

美濃ミッション代表 石黒イサク

追伸、2018 年発行の宣教師物語『嵐の日本にきたアメリカ女性』は 180 ページ ¥1,000 で続いて在庫がございます。拙著『どこまで見抜けるか迫害の文脈化』三刷は 64 ページ ¥300 です。どうぞよろしくお願い申し上げます。